ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

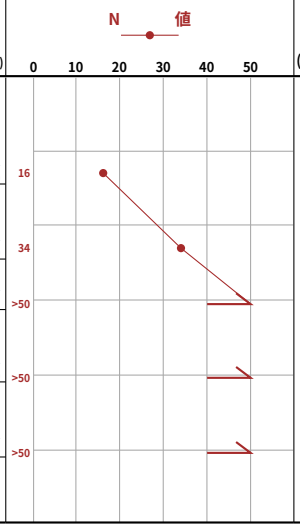
シートNO.

ボーリング名	No.B-3(E-NO.10,L4.75)			調査位置						北　緯	36 ° 19 ' 05.0000 "
発 注 機 関	栃木県佐野土木事務所					調査期間	2008-10-07 ～ 2008-10-07			東　経	139 ° 36 ' 58.0000 "
調 査 業 者 名				主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	40.17 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 10.00 °	使用機種	試 錐 機	ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	5.09 m								エンジン	ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	39.87	0.30	0.30		表土 (SF)	暗褐			上部5cmは腐植土 礫混りシルト主体		
	39.52	0.35	0.65		礫混り粘土 (CH-G)	暗茶褐			含水、粘性ともに中位		
1					粘土質砂礫 (GSC)	暗褐灰		非常に硬い	φ2～40mmの角礫を少量混入する φ2～35mmの頁岩礫が主体である 礫間は粘土 頁岩の強風化部		
	38.67	0.85	1.50								
2					強風化頁岩 (Sh)	暗褐灰		固結した	含水少ない 全体に固結土高い		
	37.82	0.85	2.35								
3					風化頁岩 (Sh)	暗褐灰～暗灰			2.35～3.00m間は風化著しく軟質化している 3.00m以深はやや風化進むもやや硬くなる 全体に亀裂は多く亀裂面は褐変し、一部で粘土化している コアは5～35cmの棒状あるいは岩片状で採取される		
4											
5	35.08	2.74	5.09								10/07 5.09

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	5	7	16／30	16
1.45					
2.15	8	10	16	34／30	34
2.45					
3.00	26	24／3		50／13	>50
3.13					
4.00	50			50／10	>50
4.10					
5.00	50／9			50／9	>50
5.09					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/07